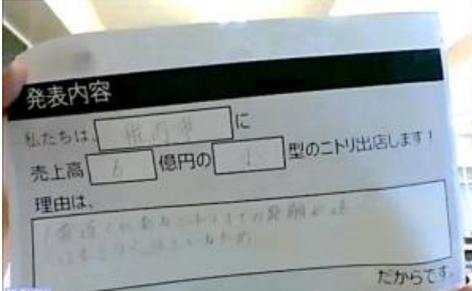


「探究的な学習活動における IT・データサイエンス活用促進事業」報告書

学校名	北海道松前高等学校
実施日時	令和5年8月23日(水) 13:25~15:15
講師	(所属) ニトリホールディングス (職・氏名) ニトリホールディングス執行役員兼情報システム改革室 室長 兼ニトリデジタルベース取締役 荒井 俊典
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>企業がデータをどのように活用しているかを学ぶことによって、探究活動におけるデータサイエンスの有用さを理解する。人口データを参考に、ニトリの出店場所を決めるワークに取り組み、探究で活用する具体的なイメージを持たせることを目的とする。</p> <p>2 日程</p> <p>8月23日(水) 遠隔による講義・ワーク 8月24日(木) 振り返り・アンケート</p> <p>3 講義、研修等の概要</p> <p>(1) 講義① ニトリとは？歴史・ビジネスモデル ニトリの歴史とビジネス形態について学び、人口データから、出店場所、店舗の規模を決める考え方について学んだ。</p> <p>(2) ワーク &lt;北海道エリアにニトリお店を出店するならどこにする？&gt; 北海道の人口、人口の増減数、現在の出店状況のデータを参考に、次の出店場所を考察するワークを行った。「近隣に店舗がない」、「人口の増加が見込まれる」、「公共交通機関の状況」などを踏まえ、出店場所や規模について考察した。</p>  <p>(3) 講義② ニトリのITの歴史・データサイエンス・人材育成と地域貢献 ニトリのITの歴史について学んだ。また、生産、販売、配送など全ての工程を自社で行っていることや、ビックデータを活用して出店場所の選定や、在庫管理、店内の商品レイアウトを行っていることを学んだ。</p> <p>4 成果(生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等)</p> <p>アンケート結果から、やや講義の内容が難しかったと感じる生徒もいたが、ワークを行うことで、データが実際に役立つということを実感することができた。探究活動においても、数値が説得力を与えることを理解した。</p> <p>また、身近な大手企業の戦略・取組を知ることは、キャリアの観点からも刺激になった。</p>

【アンケート結果】※生徒の感想

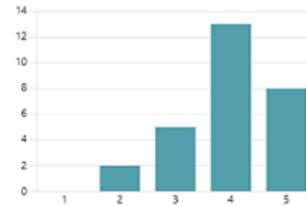
- ・身近なニトリについて詳しく知ることができてよかった。
- ・北海道は、道外と比べて意外と店舗数が少ないとわかった。
- ・遠隔の職場見学ができた。職場がとてもきれいだった。
- ・出店場所を考えるワークは、人口や年齢層、利益のことも考える必要があり難しかったけど、おもしろかったです。

【講義について】 いずれも5段階評価

●内容は理解できましたか？

平均評価3.96

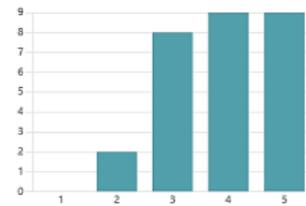
75%が、4・5の「おおむね理解できた」「理解できた」に評価



●興味を持って楽しめましたか？

平均評価3.89

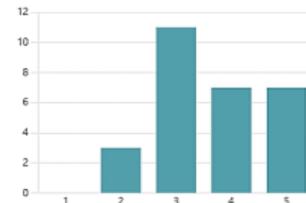
64%が、4・5の「おおむね楽しめた」「楽しめた」に評価



●今後役に立つと感じましたか？

平均評価3.64

50%が、4・5の「おおむね感じた」「役に立つと感じた」に評価



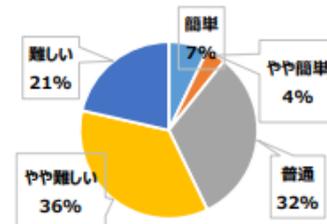
【ワークについて】 いずれも5段階評価（簡単5，難しい1）

●一人当たりの購買金額を計算するのは難しかったですか？

平均評価2.39

11%が「簡単」「やや簡単」に回答

57%が「難しい」「やや難しい」に回答

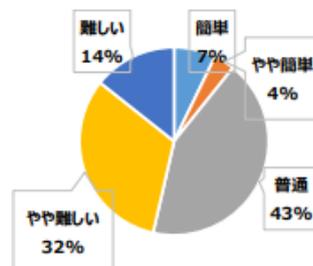


●データを分析して、出店する市町村を考えることは難しかったですか？

平均評価2.57

11%が「簡単」「やや簡単」に回答

46%が「難しい」「やや難しい」に回答



●出店規模(大型店・標準店・小型店・EXPRESS)を決めることは難しかったですか？

平均評価2.68

17%が「簡単」「やや簡単」に回答

47%が「難しい」「やや難しい」に回答

